

花新聞

花を愛し、花の輪を広げよう。

HANA SHINBUN

第15号

北九州市建設局
公園緑地部緑政課花係
〒803-8501 小倉北区城内1-1 ☎093(582)2466



花新聞キャラクター
ビンビちゃん



野山を彩る東洋の神秘

ツバキ

日本を代表する花木——ツバキ。可憐な美しさで人々の心をとらえ古くから観賞植物として親しまれてきました。花言葉は

「気どらない優美」「完全な愛らしさ」。

野山をさりげなく彩るその姿は観る者の心を、ふと、惹き寄せます。

多様なバリエーション

日本から世界へ 世界から日本へ

古来ツバキは、私たち日本人の暮らしに深くとけこんできた花です。特に観賞用として人気が高く、室町時代以降は、茶道や華道の発達とともに普及しました。江戸時代中期の「椿花図譜」には、600種を超える記載があります。花の美しさもさることながら、光沢のある葉も観賞の対象となることが、庭園樹として広まった理由と言えます。

また、防風や目隠し用の生け垣として使われる一方、材は頑強で光沢が出やすいことから建築材として利用されてきました。実からとれるツバキ油は、髪髪用、食用などに使われています。

ツバキは、日本、朝鮮半島、中国など、東アジア固有の花です。日本の代表的な野生種はヤブツバキで、ヤマツバキとも呼ばれます。

西洋に伝えられたのは16世紀頃。エキゾチックな美しさが人気を集め、特に19世紀には、オペラ「椿姫」で主役の女性がいつもツバキを胸にさしていたことに象徴されるように、「大ブームを巻き起

こします。そして昭和20年代には、アメリカ、オセアニアへと人気が拡大。アメリカを中心に品種改良も盛んになり、逆輸入されるかたちで日本にも次々と洋種ツバキが紹介されました。現在、国内だけで1300を超えると言われる、多様なツバキの品種。その魅力はますますふくらみ、これからも日本人の心を魅了し続けることでしょう。

ご存じですか

秋冬に咲くツバキのつと

「椿」は春の木と表すように、春にさきかけ、寒中に咲いて春の訪れを告げる木とされています。晩冬や早春をイメージさせるツバキですが、開花時期は品種によってばらつきがあります。黄色のツバキとして人気の「金花茶」は12~4月に開花。また、極小輪の「白牡丹」や「西王母」など、9月に開花するツバキもあります。

出かけてみませんか ヤブツバキの咲く公園

北九州市には、ヤブツバキの名所とされる公園がいくつかあります。

八幡西区

河頭公園＝黒崎の南側にある公園で、入口から歩いて10分ほどの山頂にかけて群生しています。

花尾公園＝古城跡として有名な公園。山頂から三の丸広場にかけての園路沿いで見ることができます。



花尾公園(背景は血倉山)

門司区

和布刈公園＝緑豊かな樹林帯の中にヤブツバキが点在しています。

ひまわりは

北九州市の花 元気の花

今年も、市の花・ひまわりが、北九州の夏を彩りました。ひまわりは、世代を超え、多くの人に愛される花。その魅力は実に多彩です。



ひまわりはキク仲間

ひまわりはキク科の一年草。花は、中心に密集する管状花（かんじょうか）と外側を縁取る黄色の花びらの舌状花（ぜつじょうか）から成ります。

北アメリカ生まれ

ひまわりは北アメリカ原産の花です。ヨーロッパに渡ったのは、コロンブスがアメリカ大陸を発見して半世紀ほど経った16世紀後半。その後オランダや中

ひまわりは太陽の花

国を経て、日本に伝わりました。「ひまわり＝太陽」のイメージは、世界の多くの国で共通のようです。英語の「サンフラワー」をはじめ、ドイツ語、フラ

ンス語、中国語と、それぞれ「太陽の花」を意味する名前が付いています。またメキシコやペルーでは、太陽神の象徴として、ひまわりの花が祭壇などに刻まれています。

太陽を追いかける?

「向日葵」と書くように、つぼみのころまでは、より多くの養分をつくるために茎が太陽を追います。ただし、開花が近づくと向日性はなくなり、多くの花が東を向きます。

市制20周年を記念して「市の花」になりました

北九州市では、昭和57年に「ひまわり」とつづじを市の花として制定しました。北九州市の気候や風土に適合し、また花が美しく品位があり、市民に親しまれていることなどが制定の理由です。特にひまわりは、元気な北九州市を象徴するダイナミックな花であることが決め手となりました。

種から花を咲かせましょう。 花から種を採りましょう。

ひまわりは、栽培が比較的簡単な花です。自宅や学校、職場などで育ててみませんか。

種まき

4月～5月が、種まきに適した時期です。種をまく場所は、日当たりと排水の良いところを選びましょう。土をよく耕しておくことも大切。深い位置まで土がやわらかければ、根が十分に張れるので、成長しても倒れる心配がありません。種はじかにまきます。花を大きくしたいなら



チドリにまくと見栄えがよい

50センチ間隔で、小さくしたいなら20センチ間隔でまくのが目安です。

水・肥料

ひまわりは、あまり乾燥に強い花ではありません。土の乾燥には注意しましょう。肥料は、あまり大きくしたくないのなら元肥は与えず、育つ様子を見ながら化成肥料を与える程度にします。

種採り

花が下向きになったら、種を採って、翌年また花を咲かせましょう。種を採る際は、花を蒸ごと切り取り、日陰に吊して十分に乾燥させるのがポイント。種が取り出しやすくなります。



下向きになったら蒸ごと切り取る



日陰に吊して乾燥させる



よく乾いてから種を採る

グリーンパーク（若松区）

60メートル四方の大花壇を彩るひまわりは壮観。この夏は園全体で約36,000本のひまわりが咲きました。



山田緑地（小倉北区）

表門から入園ゲートまでの沿道約320mに、毎夏ひまわりの植栽を行っています。入園者を迎える「ひまわりロード」として評判です。

北九州市のひまわり名所



市庁舎前のひまわり

ひまわりキャンペーン

花のあふれる美しい街づくりを推進するため、7月に「ひまわりキャンペーン」を実施しました。市の花制定20周年を記念したもので、JR小倉駅に「ひまわり広場」を設け、ひまわり600本の無料配布も行いました。

ひまわりで街を演出

北九州市では、ひまわりによる夏の演出を行いました。JR小倉駅南口や市庁舎前、小倉市民会館前などに約5,800本のひまわりを植栽したもので、皆様から大きな反響をいただきました。来年も行いますので、お楽しみに。



市の花ひまわりで こんな活動をしています

第7回 北九州市

花 咲くまちづくりコンクール

受賞箇所発表



花づくりを通して美しいまちづくりに貢献する皆さんを表彰する「花咲くまちづくりコンクール」。7回目の今年は128件の応募がありました。ご応募ありがとうございました。厳正な審査の結果、次のとおり受賞箇所が決定しました。

個人部門

最優秀賞

杉本 英子さん
（八幡西区浅川学園台）玄関前・車庫

洗練されたデザインで庭全体の調和を保つとともに、ハンギングバスケットやコンテナの寄せ植え、露地植えなどを見栄え良く配置し、年間を通じて花を咲かせている。公道に面する全ての箇所が花飾りの工夫で埋め尽くされ、道行く人に花を楽しんでもらいたいというもてなしの心が極めて高く評価される。



優秀賞

安本 美代子さん
（小倉南区沼南町）玄関・門扉まわり

花飾りの面積は広くはないが、立体的に見せる工夫が練り込まれてポリウレタン豊かな表現となっているなど、花飾りの技術が高く評価される。



優良賞

堀田 美由紀さん
（八幡西区八枝）玄関前・庭まわり

手作りのガーデングッズと多くの花が楽しい庭を演出しており、花づくりの技術の高さとともにセンスのあふれた庭となっている。



優良賞

島田 末子さん
（八幡西区星和町）門扉まわり・外壁

外壁の色彩と、テラコッタやハンギングバスケットの花が美しく上品に調和し、材質も木物志向でゴージャスな花飾りとなっている。



審査員特別賞

山口 忠男さん
（小倉北区高須）玄関・門扉まわり

20年余りにわたる花づくりの実績があり、しっかりとした花苗に技術の高さが表れている。



審査員特別賞

井浦 実さん
（小倉南区西宮）玄関・庭

道路から見渡せる庭全体に、多くの花を飾ろうとする意欲が感じられ、今後の花づくりが楽しみである。



学校部門

最優秀賞

北九州市立高須小学校
（若松区高須東）玄関まわり・校舎前花壇

アサガオのダイナミックなカーテンをはじめ、花壇づくりでは、草花の性質を熟知し、色彩やデザイン力も高く、花づくりの技術は極めて高く評価できる。花いっぱい学校の学校と生徒達の自然や環境に対する関心を高めることを目標に、生徒達による花づくりを行っており、これらの取り組みが地域交流へと繋がっておりつつあることも高く評価できる。



優秀賞

北九州市立高須中学校
（若松区高須北）正門玄関前・中庭

壁面の美しい飾りつけや芝生広場の維持管理など、花の性質を知り尽くした技術力は高く評価できる。



優良賞

北九州市立中尾小学校
（八幡西区下土建役）中庭周辺・金山川沿い歩道

花の持つやさしく和やかな雰囲気に着目し、学校教育の一環として、長年にわたり花づくりに取り組んでいる姿勢が高く評価できる。



審査員特別賞

北九州市立枝光幼稚園
（八幡東区日の出）通園路

園児達が花に親しみながら楽しく通園できるように、季節の植物による工夫が凝らされている。花壇づくりも園児と一緒に進められており、花のもたらす効果が引き出されている。



団体部門

最優秀賞 該当なし

優秀賞

万葉の会 (小倉南区富士見) 城野公民館
花壇面積を年々増やすとともに色彩やデザインにも力を注ぐなど、花づくりは総合的に高く評価できる。



優良賞

山野草同好会 (小倉北区熊谷)
南丘市民福祉センター

花づくりを行って親しみのある雰囲気の公民館を演出するとともに、種から苗を育てるなど、試行錯誤しながらも花づくりにチャレンジする意気込みが感じられる。



優良賞

枝光日の出花の会 (八幡東区日の出)
枝光公園内花壇

苗づくりや植え付け方を工夫しながら、四季折々の花を大切に育てており、花への思いやりが強く感じられる。



審査員特別賞

**アーバンコーポ
八幡園芸クラブ** (八幡東区西本町) マンション玄関先

花壇づくりの実績はやや少ないものの、商業地域の大通りの多い場所での花づくりは、美しい街並づくりへ繋がり、その取り組みが高く評価できる。



審査員特別賞

**葛原校区
まちづくり協議会** (小倉南区葛原本町) 葛原公園

花壇造成や種からの苗づくりでは多くの労力がかかるものの、校区内を花でいっぱいになりたいという強い思いが感じられる。花による街づくりの好取り組み。



審査員特別賞

**高須東4丁目
公園愛護会** (若松区高須東) 高須東4丁目公園

花をたくましく大きく育てるなど、花の性質が良く理解されている。また、維持管理も行き届いており、美しい花壇づくりが評価できる。



企業・商店部門

最優秀賞 該当なし

優秀賞

ミル・ベル・フルール (若松区高須東) 店舗入口

鉢花は落ち着いた色合いに統一されセンス良く飾られており、ガーアナーの思いやりのある心が伝わるデザインで、通りをひきかたえている。



審査員特別賞

印璽の富士山 (八幡西区力丸町) 店舗まわり

自宅で作った極めてたくさんのお花を、季節ごとに店舗前に置き替え、歩行者やドライバーの気持ちとを和ませる継続的な取り組みは高く評価される。



優良賞

門司港開発(株) (門司区港町) 船置側プロムナード

海辺に面する諸条件を考慮しながらの通年に渡る花飾りは、門司港レトロ地区のイメージアップに大きく貢献しており、観光客をあたたく迎える花飾りとなっている。



審査員特別賞

エルザ美容室 (八幡東区荒生田) 店舗まわり

立体的な工夫を凝らした巧みなデザインにより美しく修景されており、花による街づくりへの効果が大きい。



特別功労賞部門

特別功労賞

八尋 照和さん (八幡東区西本町)
自宅入口(駐車場)

フルバラやたくさんのお花により、立体的でダイナミックな花飾りが継続的に行われており、花のあふれる美しい街づくりの模範となるものである。手入れが行き届いた花々から、日々の熱心な維持管理がうかがえるとともに、長年にわたる花づくりを通して地域とのコミュニケーションに努めていることも評価できる。



第7回北九州市花咲くまちづくりコンクール

受賞者の喜びの声



花通信

今、私のお気に入りの花は朝顔。「朝顔の生垣なんか素敵かもー」とひそかに思っていたら、今回取材した高須小学校では校舎の壁に朝顔を、西洋アサガオのツルをはわせていました。夏休み中はまだ花が咲いていませんでしたが、巨大なグリーンカーテンのようでも緑がとてきれいでした。「来シーズンは我家のベランダに朝顔の生垣を作ろう」と心に誓ってしまいました。



花新聞リポーター: 園田静佳
クロスFMニュース・アナウンサー
RKBラジオうまいもん北九州リポーター

個人部門 最優秀賞 杉本 英子さん

庭作りにはまって資格も取得

「昨年は優良賞、去年が優秀賞、そして今年が最優秀賞を受賞。杉本さんご自身が外出から戻って庭を見るととても幸せな気分になるそうです。」

庭を囲む生垣や日本庭園風の石など、和をイメージするものも杉本さんのセンスで見事に洋風の庭にアレンジされているのも印象的です。庭にいと外からの眺め以上に居心地が良く、お話を伺いながら時間を忘れてしまいたいようになりました。

学校部門 最優秀賞 北九州市立高須小学校

5月に種まきした朝顔が校舎の3階まで勢い良く伸びる様は圧巻です。毎日水やりを頑張る、朝顔以外の花もいっぱい咲いています。

特別功労賞 八尋 照和さん

「手をかけたところは必ず誰かが気づいてくれます」と、うれしそうに話す八尋さん。今年はおぼろのツルバラの下に大好

毎日誰かが訪れる魅力あふれる庭

「手をかけたところは必ず誰かが気づいてくれます」と、うれしそうに話す八尋さん。今年はおぼろのツルバラの下に大好



八尋照和さん邸



北九州市立高須小学校



杉本英子さん邸



「花を譲って下さ〜い!」 花づくりは声かけ運動から

新道寺第一ふれあいの会(小倉南区)

平尾台の麓に位置する石原町。自然に囲まれた町で花のある風景をつくりだすことが、どんなに大変なことか、今回の取材を通して初めて知りました。

豊かな緑はちよつと油断すると雑草であふれます。また、植える場所が広いため花が足りず、花を集めることが一番大変なのだそう。

山登りが好きな15人が中心となって発足した「新道寺第一ふれあいの会」のみなさんは、「日頃から町内の方々なんでもいから花を譲って下さい」と声をかけ、花をいただいた時が活動日なんです」と、ちよつと申し訳なさそうに話していただきました。

6年前にJR石原町駅近くの線路沿いの草取りから始まった活動は、公園や駅前の花壇の花づくりまで広がって、今では花を題材にした街づくりを意識するようになったそうです。活動にともなう、花集めも大変になったそうですが、地道な声かけ運動が少しずつ浸透して、以前より譲ってもらえる機会が増えたそうです。

百日草やマリーゴールドが、初夏の花壇を鮮やかに彩りましたが、この秋は、葉の生え方に特徴があるほうき草や秋桜も見頃となります。

いずれも譲ってもらった草花で、つまようじほどの小さな苗から成長したものです。

ほかに水仙やチューリップの球根が大切に保管され、植えられる季節を待っているそうです。

2年前、駅前に石原町



新道寺ふれあい公園



平尾台登山道

百日草やマリーゴールドが、初夏の花壇を鮮やかに彩りましたが、この秋は、葉の生え方に特徴があるほうき草や秋桜も見頃となります。

いずれも譲ってもらった草花で、つまようじほどの小さな苗から成長したものです。

ほかに水仙やチューリップの球根が大切に保管され、植えられる季節を待っているそうです。

2年前、駅前に石原町

「いただいた花を植えた時は、あとからこういふ風に植えればよかったと思うこともあるけど、その時に良いと思う方法で楽しみながら植えています」と、とても大らかでした。

今後の抱負は、JR石原町駅前の花壇も含めてもう少しきれいに整備すること、やはりもっとたくさんのお花を集めることがそうです。

活動は花をもらった時だけでなく話しながらも、台車にホースを積んで移動し、あちこちの花壇に水をまく姿は心に残りました。その一生懸命な活動が、石原町全体に花を増やそうという地域の人々の心を育てていくに違いありません。

大好きな私の花

小倉南区 吉永 宏治さん



吉永 宏治さん

皆さんは、サギソウを知っていますか。7、8月にかけて湿地に咲く、純白の可憐な花です。花径は約3センチで、飛び立つ白鷺を思わせる姿から、そう名付けられています。

吉永さんは、そんなサギソウに魅せられ、30年ほど前から自宅で栽培を続けています。友人からもらった数珠の球根からスタート。最初の7、8年は失敗の連続でしたが、試行錯誤の末に栽培法を見つけ、今では1シーズンに500鉢を育てるまでになりました。

サギソウは、ふつう1本に2、3輪の花が付き、1週間ほど咲き続けます。吉永さんの夢は5輪の花を咲かせること。きれいな花を咲かそうと、暑い日



も庭に出て、こまめに目を配ります。「世話は大変だけど、開花の喜びが大きいかから苦にならない」と吉永さん。栽培を通じて感じる季節のうつろいも、大きな楽しみになっているそうです。

「ゆく夏を 惜しむが如く 夕風に
ゆる、サキ草 ほのかに香る」
吉永 宏治

あてかけ インフォメーション

山田緑地

山田の森に秋の訪れを告げるハギは、9月の中旬から見頃となります。またこの時期には、ツリフネソウなどの野草が可憐な花を咲かせます。

- 「定例自然観察会」
9月22日(日)9時30分～12時
- 「草笛コンサート」(申込み要)
9月22日(日)14時～15時
- 「マンドリンみどりのコンサート」
9月29日(日)14時～15時30分(申込み要)

10月6日(日)・27日(日)
093・582・4870

グリーンパーク

秋の園内を色鮮やかなヘゴニアやコリウスが彩ります。大花壇には、白や桃色のサルビアを中心にマリゴールドなどが咲き誇ります。

- 「無料入園日」
9月15日(日)グリーンパーク入園料のみ無料
- 「秋の押し花展」
10月5日(土)・27日(日)

■「北九州市都市緑化祭」
10月20日(日)グリーンパーク入園料、熱帯生花園、カンガルー広場の入場料が無料。記念式典にて「花コンクール」の表彰式を行います。
093・741・5545

白野江植物公園

9月に見頃となる花は、彼岸花とサルズベリです。10月は、1年に2回咲く十月桜が開花します。

- 「園芸講座」
9月29日(日)10時～12時
テーマ「秋植え球根の植え方と実習」(材料費千円・申込み要・先着30名)
093・341・8111

情報満載! これは便利! 北九州市お花情報

ご存じですか? 花のホームページ「北九州市お花情報」。開花情報や名所案内など、盛りだくさんの情報を紹介しています。必要な情報を手軽に取り出せるから、とにかく便利! ぜひ、ご利用ください。



<http://www.city.kitakyushu.jp/~k1304020/flower/index.htm>

アクセスしましょう。

こうすれば簡単!

“お花情報”をご覧になる方法

- ①パソコンのインターネットで、検索ページを立ち上げる。
- ②検索の欄に「北九州市お花情報」と入力し、検索ボタンを押す。
- ③検索結果の中から「お花情報」の項目をクリックする。
- ④「北九州市お花情報」のトップページへ。



お花情報ホームページ画面

開花情報

17種の花の開花状況を紹介します。見頃がいつなのか、一目でわかります。

名所案内

花の種類ごとに、市内の名所を紹介。所在地の案内図も掲載しています。

花新聞

花新聞の第6号から最新号までを掲載しています。

市の花・シンボルツリー

市の花「つつじ」「ひまわり」と、シンボルツリー「いちいがし」について紹介しています。

星座の花

12星座の花について紹介しています。

花言葉

「コスモス＝愛情」「椿＝控えめな優しさ」など、花言葉を紹介。

四季の花咲く公園

グリーンパーク、白野江植物公園、山田緑地の花情報を掲載しています。

花新聞では、皆様からのお便りをお待ちしております。ご自宅で育てている花のこと、北九州市内のお気に入りの花のスポットなど、花に関することなら何でも結構です。写真同封も大歓迎。お便りの一部は、花新聞紙上で紹介させていただきます。

あて先/〒803-8501 小倉北区内1の1
北九州市建設局 公園緑地部緑政課花係
TEL 093・582・2466
FAX 093・582・3114

お便り待っています



このほかにも楽しいコーナー、役立つ情報がいっぱいです。